

能登半島地震で活躍した
LCACってなに？



輸送艦「おおすみ」型に2隻ずつ搭載されている、

エアクッション艇で、**エルキャック**と呼んでいます。

※通称LCAC (Landing Craft Air Cushion)

いわゆるホバークラフトの一種で海面に空気を吹き付けて浮上し、船尾にある大型扇風機のようなプロペラを回して前後進します。

従来型輸送艦と違い、

海上から海岸の砂地への行動が自由などの利点があります。



災害支援でも活用されているLCAC、能登半島地震では、

救援物資の搬送、重機陸揚げ、

通信会社通信機材の陸揚げなどで活躍しました。

実際の活動の様子



輸送艦「おおすみ」搭載LCAC



輸送艦「おおすみ」搭載LCAC



重機陸揚げ



通信会社通信機材陸揚げ